

主なご意見等と区の考え方、対応（令和7年度 第1回生野区区政会議 まちの未来部会）

意見交換のテーマ（区として特にご意見やアドバイスをいただきたいこと）	
地域行事等を盛り上げるためにはどのような方法が有効か	

ご意見・アドバイス等		委員名
地域行事等の 盛り上げ	盆踊り実行委員会を開くにしても、物事を進めていくというのはいろいろな考え方の人がいるし、思いを一つにしようと言っても、反対意見も出ることもある。しかし飲み会の席等で話をするのではなく「意見は会議で出してくれ」と思っており、何のための会議なのかという思いがあるので、私としては会議に終始おられる委員は多くはないが、全員が顔を揃えて実施できたと思っている。また、若手だけではできない。町会長や女性部長の方のお世話にならないといけない。実行委員会だけがやるのではなく、全員でやるのができたと感じており、そういうのが脈々と受け継がれて今に至っていると思う。	須郷委員
	地域で田島小学校の跡地で防災イベントや花見イベントをしているので、まちづくり協議会のイベントの1つとして実施するのはなかなか協力を得ることが難しく、できるところから1年2年かけて実施できればと思う。	中村(寛)委員
	子どもたちが夜店に来て模擬店を選べなければ魅力がないので、一つでも多く模擬店を増やし楽しんでもらえるようにできる範囲でやっている。あとの問題は若い人が少ない。盆踊りも結構子どもがたくさん来るが、この子どもたちの親は何故手伝ってくれないのかと感じており、楽しいだけではなく親なども参加型にさせないといけないと思う。	平島委員
	祭り行事などは、年配の方がトップにいるピラミッド形が見えているので若者は参加しにくいと思う。主体的な若者が前に立ち、年配の方と子どもたちの間をどのように埋めるかが重要かと思います。また今はエンタメも多いので、お祭りを非日常的なものにし行ってみたいと思わせるのが大事だと思います。何か自分でやってみようと思う若者はいると思うので少人数でも継続させる仕組みを作る方が重要ではないかなと思う。	廣川委員
	高齢者しか参加しない防災訓練などではなく、若い人も参加しやすい楽しいイベントにしたらかとの話も出ていますが、高齢化が進んでいるため今は難しいと感じている。しかし多文化共生に関しては、外国の方たちも増えてきており、生野区でも様々な取組をされ人権意識の高まりも広がっていることから、私たちが外国の方に参加しやすいイベントや研修を企画できたらと思う。	島本委員

主なご意見等と区の考え方、対応（令和7年度 第1回生野区区政会議 まちの未来部会）

ご意見・アドバイス等		委員名
地域行事等の 盛り上げ	小路地域は地域と住民が連携して盛り上がってる方だが、まちづくり協議会の方はすごく高齢化しているので大変に感じる。どのように次の担い手に引き継いでいくか、また他の何かと一緒にやったら楽しいのをどのように見せたらいいのかというのは、参加してる立場からもすごく感じている。 我々もイベントをするときは必ず連長に相談をし、多くの方のご協力があるので、お互い協力して人を出す事もできている。従事者を増やす盛り上げ方を考えたいが、PTAも子供会も声をかけたら来てくれるので、現状はそれほど苦労はしていませんが、まちづくり協議会の方の入れ替わりは急務と感じている。	倉本委員
	世代交代を上手くいかないのをどうやるかが課題です。私は町会長もしていますが若い人たちは町会には入らない。新しく引っ越して来た方が何軒かあるので丁寧に説明をし町会に入っていただき、少しずつですが加入者は増えてきているのが現状です。 回覧も月に1回は町会はこのような動きになっている情報も入れ、会長メッセージもつけます。1年目を振り返り、イベントの参加者が少し増え良い傾向ができています。	須郷委員
	若い人同士で別の行事をしているが、まちづくり協議会の行事には一緒にはしたくないと思ってる人がいると感じる。一緒になってできることもあるが、それぞれが行なっているため協力できないのが現状と思う。また、町会に加入していない地域の方たちはイベントには来るが、その人たちを巻き込む方法っていうのも掴みきれないと思う。	中村(寛)委員
	町会の人、外国人の方はいるが日本語を喋れるかわからないから勧誘しに行けないと言われる。 よって今の小中学生の子に盆踊りや餅つき大会に来てもらい、この子たちが大人になった時に、良かったとの思い出があって参加してくれることを考えている。	平島委員
	ソフトな内容を継続するのが重要と思う。例えばみんなで社会活動をしなが、その最中に上下の会話が生まれたりする。ただ、こういう場にも参加を促すのが難しい中で、はじめに祭りをやろうというのは厳しいから、何かソフトな内容を挟み、そこに対して集まるような、柔らかい形のアクションを続けるというのがすごくいいと思う。 あと、思い切って若い人たちに困っているから助けてぐらいのアクションの方が集まるのではないかな。 また、区内の20代の外国籍人口は多いので、何かアプローチできたらすごく面白く、生野のオリジナリティを生めそうな気がしており、何十年かけて地域行事に参加させていくタイミングがもう来てるんじゃないかとも思う。	廣川委員
	子どもや若者が少なくなり、マンションや民泊も増え町会に入る人が少なくなっている。昔のように町会に入ろうという方は少ないと思う。 また共働きの世帯も増え、学校が終われば習い事があり、子ども同士の関わりも少ないと感じており、子ども同士で遊ぶのも調整しないといけないので、昔みたいに一緒に集って遊ぶことさえも難しいと感じる。	島本委員
	実務的な話になるが、催して鉄パイプ製のテントを組み立てる事ができない若い方が非常に増えており、手伝いができないため参加しづらい状況にあるのも事実と感じている。ただ教えてもらうこともすごく大事なことで、知らないことを教えてもらえるような環境整備も何か出来たらと思います。逆に、催して音楽が欲しい時に、パソコンやタブレットがあれば若い方が流してくれるので、お互いできる事で協力体制が作れたら参加型になるのではと思う。	倉本委員

主なご意見等と区の考え方、対応（令和7年度 第1回生野区区政会議 まちの未来部会）

その他の主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
EXPOいくのヒートアッププロジェクト	万博が始まり、実際に盛り上がっているのか。	山納委員	マンスリーヒートアッププロジェクト100として、地域を盛り上げたいという方に集まっていただいて100個のプロジェクトを立ち上げ、実際に101プロジェクトを実施することができました。	企画総務課
	プロモーションに関して、ジョーブログさんと連携して発信していくとのことだが、どのような感じか。	山納委員	YouTubeで4回生野区の内容で発信し、セカンドチャンネルを合わせると、約10回発信しています。初回の発信だけでも64万人の閲覧、4回で140万回を超える閲覧は出ており、どのメディアよりも強力な発信と思っています。	
その他ご要望等				委員名
自転車対策	外国籍の人が多くなり、自転車に乗っている人も多いんですが、来年4月から自転車に対する法律がかなり厳しくなりますので、外国籍の人たちにも、その辺の情報が行き渡るようにしてほしい。			島本委員